

# 地域のゆるーい関係づくりの拠点

## 「リトルファーム HOMMOKU もくり」

本牧通りから歩いて15分、住宅街の中の細い小道を入ると、ぱっと視界が開けます。古い民家と広い庭には折々の花が咲き、夏ミカンの木などの実のなる木と菜園があり、季節ごとの野菜が収穫できます。そして築80年を超えた古民家でくつろぐこともできる。住宅地の中のオアシスのような場所、それが「リトルファーム HOMMOKU もくり」(以下、「もくり」)だ。

成30年にオープンしました。「コンビニや公園もなく、休憩するところもない地域に、みんなが集える場所がほしいと考えたのです。そこで古民家と庭を利用したソーラーキッチン、ヨガ教室、ヨガ教室など、多様な活動を始めました。

しかし、活動を始めてみると、いろいろな課題が明らかになります。目印がなく、奥まった場所にあり、大変わかりにくい。地元の人たちでさえ、最初は「もくり」にたどり着けなかったそうです。

また、80年を超えた古民家は下水道が経年劣化していて、雨が降るとすぐ水が溜まり、利用者が増えるトイレも詰まってしまう。これでは、晴れていても大勢の人が利用できません。さらに台所も昭和時代のままで、非常に使いづらい。料理教室や子ども食堂もできません。

本牧は高齢化が進んでいるものの、建て替えて若い世代も増えています。また、外国籍の人たちも徐々に住み始めました。多様な人たちが地域に溶け込めるきっかけをつくりたい、と思っていたのに、大きな壁にぶつ

かっていました。

そんな時に、仲間の一人が「まち普請という助成金があるらしいよ」と教えてくれました。ハード整備に対する助成金！ここにぴったりじゃないの、と申請を決めました。その情報に気づいたのはほぼ締め切り間際、メンバーは必死になって書類を作成しました。「もくり」の強みは、地域の多様なネットワークがあることで、大工仕事や農作業が得意な人だけでなく、絵が描ける人、設計士、企画書を書ける人がいるので、何かあると色々な技を持った人たちが集まってきます。だから、この時も短い時間でしたが、みんなで集中、「やらなきゃ前に進まないよー」という思いで一致団結、無事コンテストを通過しました。

まち普請の整備で、懸案だった「場所のわかりにくさ」は解決しました。町内会の掲示板、個人のお宅などあちこちに「もくりはこちらです」という案内があります。それだけでも「もくり」が地域の居場所になっていることがわかります。「もくり」の入り口には、目印看板もつきました。

そして、道路から「もくり」までの小道には「アイコンづくりワークショップ」で地域の子どもたちが作成した農作物や昆虫などの絵が並び、入りやすい雰囲気を作り出しています。加えて「今月の予定」を知らせるイベント告知版。これは以前の窓枠を再利用して作成しました。これによって今、どんなことが行われているのか、一目でわかるようになっていきます。



指導を受けながら、キッチンのタイル貼り



子どもたちが作成した入り口のアイコン

下水道はプロの手でしっかり整備され、雨の日に人が集まっても不安はなくなりました。キッチンにはシンクを高くして、作業が楽になりました。そのほかに、窓をアルミサッシにして寒さ対策をしたり、換気扇を設置したりして、使いやすくなりました。あえてシステムキッチンではなく、みんなでタイルを貼って、昭和の雰囲気が残るキッチンになりました。ようやく待望の「みんなの食堂」も活動グループが誕生し、始めることができるようになりました。

キッチンの外にカウンターも設置し、収穫した野菜や調理した料理をキッチンから直接外にいる人たちに渡せるようになり、中と外の連携がスムーズになりました。

新しくなった「もくろ」では、古民家の風情を活かした茶道の講座等、これまでの活動も続いています。自主事業としては「畑部」で野菜や果物を育て、「食部」で収穫されたもので、折々の食事をつくる。畳の部屋で字を書く「書道部」、いろいろ持ち寄って好きなものをつくる「芸芸部」があります。そこに醤油をつくる「発酵部」、持ち寄った図書を借りられる「図書部」が増えました。また、「おやつタイム」のような気軽に参加できる活動も自然に生まれてきました。子どもたちが家で余ったお菓子を持



おやつタイム 読み聞かせグループと一緒に

ち寄って、みんなでおやつを食べる。そんな時間があってもいいよね」という一人の思いからはじまり、子どもたちが運営に関わり、町内会との「コラボ事業」に発展しています。

もともとネットワークを持っている人たちの集まりだったので、「〇〇やりたかね」と、活動が増えていきます。それらはゆるーくつながっていて、地域の知り合い同士だから、コラボになることもあります。新しい試みを見た人が「私たちもできるかも」と始める人もいます。



和室を活かした、着付けとお茶の会

新しい「もくろ」の成果は、担い手が増えたことです。スタッフ会議に若い世代が入り、「パンフレットを作り直しましょうよ」「インスタやりましょうよ」と積極的に関わってくれているようになったそうです。そこから役員も増え、世代交代がスムーズにできそうというのは、大きな成果です。

2025(令和7)年の秋は、「もくろ」の活動が始まってから7周年でした。そのお祝いも、大イベントとして大勢が集まるのではなく、それぞれの部がちよっと特別なことを、1か月かけてやる、やっぱり「ゆるーい」お祝いでした。「もくろ」を拠点に小グループが沢山できて、毎日どこかのグループが定期的な「もくろ」を利用して、そこで出会ったグループ同士がつながって広がっていき、という理想を実現するようなお祝いでした。

エアコンがないから、夏に熱中症警戒アラートが出たら閉園、冬も2月は寒いから閉園、と運営もゆるいのですが、世代交代できそう、そして維持費も大家さんたちの協力で安く抑えられているという経済的にもあまり問題なしという、持続可能性の面で非常に明るい「もくろ」は、これからも地域でゆるーく根を張っていきそうです。

**Access Map**

**HOMMOKU もくろプロジェクト (中区)**

整備主体… HOMMOKU もくろ  
プロジェクト実行委員会

整備場所… 中区本牧満坂1-6-9

整備内容… 園内案内板やイベント告知板等設置、スロップ設置、台所水回り改修、井戸設置等

竣工時期… 令和7年1月